

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸美容学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	演習
科 目 名	メイク演習		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期	教室名	講義室
担 当 教 員	赤田 尚子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<ul style="list-style-type: none"> ・メイクセラピー検定2級合格を目指す ・印象管理の大切さを学び、コミュニケーション力を身につける ・カウンセリングの技術を学ぶ ・なりたい印象に伴ったメイクアップを施すことができる 						
《成績評価の方法と基準》						
評価試験(メイク実技、筆記)、課題の提出、授業態度(取り組み、発表、他)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
使用教材 ;メイクセラピー検定2級対策 一般社団法人メイクセラピストジャパン メイクセラピー検定事務局 発行 参考図書 ;メイクセラピー検定3級対策 一般社団法人メイクセラピストジャパン メイクセラピー検定事務局 発行 化粧品道具教材、個人で使用している化粧品(ファンデーション、アイカラー、アイライナー、マスカラ、チーク、リップ等)、メイク落とし・スキンケア用品、置き鏡(顔全体が映るもの)						
《授業外における学習方法》						
<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの復習(学んだページをしっかりと読んでおく)、練習問題を解いてくること ・授業終了時に示す課題を実施しておくこと ・学んだメイクを日々実践すること 						
《履修に当たっての留意点》						
メイクセラピー検定は、メイクとメンタルサポートの知識と技術の習得を目的としています。この授業では、学習を通じて習得した知識と技術が、皆さんの将来に役立つように伝えていきたいと思っております。質問など、積極的に参加してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	・メイクセラピーについて理解する	YouTube動画を観る為のPCやプロジェクター テキスト、筆記用具、メイク教材一式、鏡	テキストの復習	
		各コマにおける授業予定	・オリエンテーション ・メイク道具の確認 ・メイクセラピーとは(Youtube動画を観る) ・化粧品心理学(P14-21)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	・メイクセラピーを行う上で関係の深い「心理的メカニズム」を学ぶ	テキスト、筆記用具、ノート 顔全体が映る鏡、メイク教材一式	テキストの復習	
		各コマにおける授業予定	・メイクセラピー的心理学(P22-24) ・パーソナルカラーについて(P77-80) ・ポイントメイク実習(セルフメイク、眉) ・知識の確認			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	・パーツバランスを理解し、印象分析ができるようになる ・印象分析の三要素について理解する	テキスト、筆記用具、ノート 顔全体が映る鏡、メイク道具一式、スキンケア用品一式	テキストの復習	
		各コマにおける授業予定	・メイクセラピー的心理学(P25-33) ・印象分析(パーツバランスについて)(P44-47) ・印象分析実習 ・ポイントメイク実習(セルフメイク、眉)			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	・印象管理の大切さを理解する ・なりたい印象に伴った眉を描くことができる	テキスト、筆記用具、ノート 顔全体が映る鏡、メイク道具一式、スキンケア用品一式	テキストの復習 学んだメイクを日々の自分のメイクで実践する ベースメイクのみの状態で出席	
		各コマにおける授業予定	・印象管理とは(P14) ・錯視効果について(P47-52) ・ポイントメイク実習(セルフメイク、眉) ・知識の確認			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	・錯視効果を使ったポイントメイクを理解する	テキスト、筆記用具、ノート 顔全体が映る鏡、メイク道具一式、スキンケア用品一式	テキストの復習 学んだメイクを日々の自分のメイクで実践する ベースメイクのみの状態で出席	
		各コマにおける授業予定	・錯視効果を使ったポイントメイク(P53-63) ・メイク道具の使い方について(衛生管理、ブラシ使用法など) ・メイク実習(セルフメイク、遠心と求心)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	・色の印象について理解する ・なりたい印象にあったメイクを理解し、それに伴った眉を人に描くことができる	テキスト、筆記用具、ノート 顔全体が映る鏡、メイク道具一式、スキンケア用品一式、フェイスシールド	テキストの復習 学んだメイクを日々の自分のメイクで実践する ベースメイクのみの状態で出席
		各コマにおける授業予定	・色彩学、色彩心理学(P68-77)、ワーク② ・メイク実習(相モデルにて、眉) ・知識の確認		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	・なりたい印象に伴ったメイクを人に施すことができる(チークとリップ)	テキスト、筆記用具、ノート 顔全体が映る鏡、メイク道具一式、スキンケア用品一式、フェイスシールド	テキストの復習 学んだメイクを日々の自分のメイクで実践する ベースメイクのみの状態で出席
		各コマにおける授業予定	・印象分析(コミュニケーションについて)(P64-67) ・メイク実習(相モデルにて、チークとリップ) ・知識の確認		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	・メイクセラピストとしての基本的なカウンセリングの知識を身につける ・なりたい印象に伴ったメイクを人に施すことができる	テキスト、筆記用具、ノート 顔全体が映る鏡、メイク道具一式、スキンケア用品一式、フェイスシールド	テキストの復習 学んだメイクを日々の自分のメイクで実践する ベースメイクのみの状態で出席
		各コマにおける授業予定	・カウンセリング概論(P34-42) ・メイク実習(相モデルにて、印象別メイク) ・知識の確認		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	・コミュニケーションについて理解する ・自分自身のコミュニケーション力をアップさせる	テキスト、筆記用具、ノート 顔全体が映る鏡、メイク道具一式、スキンケア用品一式、フェイスシールド	テキストの復習 学んだメイクを日々の自分のメイクで実践する ベースメイクのみの状態で出席
		各コマにおける授業予定	・コミュニケーション実習(質問の技術) ・メイク実習(相モデルにて、印象別メイク) ・知識の確認		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	・メイクセラピー検定について ・メイクセラピーの基本的な知識を身につける	テキスト、筆記用具、ノート 顔全体が映る鏡、メイク道具一式、スキンケア用品一式、フェイスシールド	テキストの復習 学んだメイクを日々の自分のメイクで実践する ベースメイクのみの状態で出席
		各コマにおける授業予定	・メイクセラピー検定について説明 ・論述問題について解説、練習問題を解く ・メイク実習(相モデルにて、印象別メイク) ・知識の確認		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	・印象に伴ったメイクを人に施すことができる ・メイクセラピーの基本的な知識を身につける	テキスト、筆記用具、ノート 顔全体が映る鏡、メイク道具一式、スキンケア用品一式、フェイスシールド	テキストの復習 学んだメイクを日々の自分のメイクで実践する ベースメイクのみの状態で出席
		各コマにおける授業予定	・メイクセラピー実習(相モデルにて、印象別メイク) ・知識の確認		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	・メイクセラピーの基本的な知識を身につける	テキスト、筆記用具、ノート 顔全体が映る鏡、メイク道具一式、スキンケア用品一式、フェイスシールド	テキストの復習 学んだメイクを日々の自分のメイクで実践する ベースメイクのみの状態で出席
		各コマにおける授業予定	・メイクセラピー実習(相モデルにて、印象別メイク) ・知識の確認		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	・メイクセラピーの基本的な知識の理解を深める	テキスト、筆記用具	テキスト、練習問題、模擬テストの復習 学んだメイクを日々の自分のメイクで実践する
		各コマにおける授業予定	・筆記試験 模擬テスト(60分)と答え合わせ、解説		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	・相手のなりたい印象を引き出し、印象に伴ったメイクを施すことができる	テキスト、筆記用具、ノート 顔全体が映る鏡、メイク道具一式、スキンケア用品一式、フェイスシールド	テキスト、練習問題、模擬テストの復習 学んだメイクを日々の自分のメイクで実践する ベースメイクのみの状態で出席
		各コマにおける授業予定	・メイク検定シュミレーション(30分×2回) ・検定当日の注意事項の伝達		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	メイクセラピー検定2級に合格する	顔全体が映る鏡、メイク道具一式、スキンケア用品一式、フェイスシールド、ゴミ箱等	学んだメイクを日々の自分のメイクで実践する ベースメイクのみの状態で出席
		各コマにおける授業予定	メイクセラピー検定2級、実技試験実施		